

2021 年 6 月 19 日

緊急事態宣言の解除に伴う今後の体育会クラブ活動のあり方について

立命館大学 学生部長 中西 純司

新型コロナ禍のパンデミック（世界的流行）による東京オリンピック・パラリンピック（復興五輪）開催可否をめぐって大きく揺れる一方で、パンデミックの終息に向けたワクチン接種も進むなか、政府は、6 月 20 日（日）をもって京都府・大阪府を含む 9 都道府県における緊急事態宣言の解除を決定しました。京都府・大阪府では、まん延防止等重点措置が 7 月 11 日（日）まで実施されますが、本学では、キャンパス周辺地域の感染状況や政府・自治体からの要請内容等を考慮したうえで、**6 月 21 日（月）から、BCP レベルを「2」に引き下げ、それに応じた授業形態として対面授業を実施することになりました。**

これに伴って、**体育会クラブ活動についても 6 月 21 日（月）より、BCP レベル 2 に応じた活動形態として、これまでの「通常練習」「公式戦参加」に加え、「合宿・遠征」「練習試合・合同練習」（いずれも高校・大学等）なども適切な申請手続きを行い、感染症防止対策等が十分であると認められれば実施可能となります。**この間、新型コロナウイルスの新規感染者数は漸減傾向にあるとはいえ、重症者数や死亡者数などは高い水準にあり、最近ではインド型変異株（デルタ株）の拡大傾向も見られ、まだまだ予断を許さない厳しい状況が続きます。皆さんは、**「安全で安心な体育会クラブ活動」の持続**をめざして、引き続き、自主的な感染症防止対策の遵守と警戒心を強めた行動を徹底するよう努めてください。

そのため、学生部長としては、今後のことについて **2 つの大切なお願い**があります。

1 つ目は、詩人・宮澤章二氏の「行為の意味」について改めて考えてほしいということです。少し長くなりますが、「――あなたのくころ> はどんな形ですかと ひとに聞かれても答えようがない 自分にも他人にもくころ> は見えない けれど ほんとうに見えないのであろうか **確かにくころ> はだれにも見えない けれどくころづかい> は見えるのだ それは 人に対する積極的な行為だから 同じように胸の中のく思い> は見えない けれどく思いやり> はだれにでも見える それも人に対する積極的な行為なのだから あたたかい心が あたたかい行為になり やさしい思いが やさしい行為になるとき く心> もく思い> も 初めて美しく生きる――それは 人が人として生きることだ」（宮澤章二詩集より）。皆さん一人ひとりこれまで、「自分も感染しない、大切な人や仲間にも感染させない」といった、**あたたかいく心> ややさしいく思い> を、自主的な感染症防止対策ルールの遵守というあたたかくて、やさしい行為としてくカタチ> にして、立命館大学生として、体育会クラブ生として、そして何よりアスリートとして、美しく生きてきました。**もしかすると、これからのワクチン接種という自発的な行為も、**あたたかくて、やさしい気持ちを多くの人々にくカタチ> として表現することになるのかもしれない。****

2 つ目は、これまで通り、ONE TAP SPORS による体調管理（特に、体温測定）を徹底してほしいということです。ある研究によれば、感染症予防においては人体の免疫機能（免

疫力)を保持して向上させることが重要であり、免疫機能は体温と密接な関係があると言われています。また、適度な運動・スポーツは免疫機能を促進し、細菌やウイルス等の病原体への感染リスクを軽減しますが、**長時間の激しい運動・スポーツは活動後に免疫機能が抑制され、病原体への感染リスクが高くなる**、という研究結果なども明確にされています。**体育会クラブの皆さんは**、BCP レベルが下がったことで活動形態も増え、今後、練習強度等もより一層高まっていくことになるでしょうから、**長時間の激しい練習活動やオーバートレーニングなどの実施による慢性的な免疫機能の低下には十分注意する必要があります**。皆さんの日頃からの継続的かつ自主的な体調管理は、体育会クラブの仲間をはじめ、一般学生などに対する**あたたかくて、やさしい行為**だと思います。

以上が学生部長から皆さんへの大切なお願いであり、今後、体育会クラブ生一人ひとりの人間的成長・発展と各体育会クラブにおける活動成果の発揮を大いに期待しています。

最後に、新型コロナウイルス禍のなかで、何か不安や不明なことがあれば、**いつでもスポーツ強化オフィス**までご連絡ください。

以上